

1 開催概要

- (1)日 時:令和8年7月13日(月)11:00~12:00
- (2)場 所:本庁舎10階 市長会議室
- (3)出席者:資料1のとおり

2 次 第

- (1)開 会
- (2)本部長挨拶(天野副市長)
- (3)事務局説明 …資料2
- (4)各局からの説明…資料3
- (5)今後の対応(本部長指示)
- (6)閉 会

3 今後の予定

- (1)7/23(木)13:00~「Well-Moving Network設立シンポジウム」の開催…別添1
- (2)同日、「パブリックスペース活用ガイドライン」の公表…別添2



【本部長】

札幌市 副市長 天野 周治

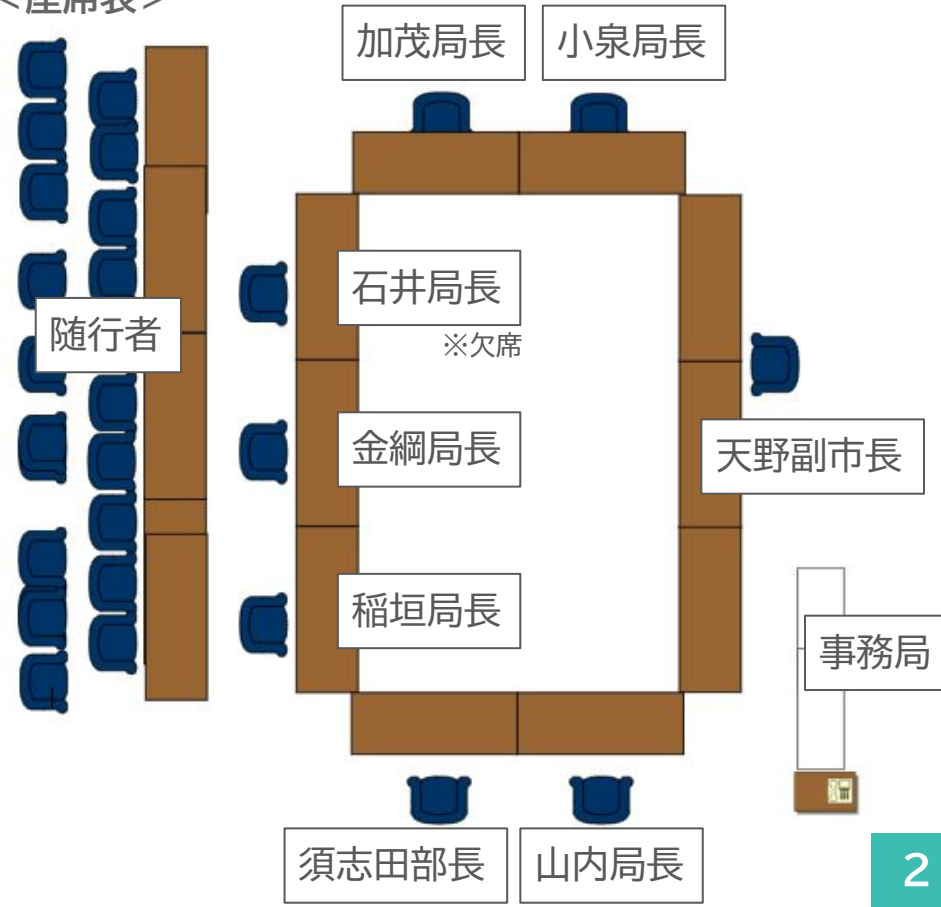
【本部員】

まちづくり政策局政策推進担当局長	山内 仙才
まちづくり政策局都市計画担当局長	稲垣 幸直
保健福祉局ウェルネス推進担当局長	金網 良至
経済観光局観光・MICE担当局長	石井 正治
環境局長	加茂 貴裕
建設局長	小泉 正樹

【事務局(幹事)】

政)政策推進担当部長(幹事長) 須志田 健
政)政策推進担当課長(副幹事長) 石井 健

<座席表>





1 経緯

★令和元年【市長公約】:「都心の歩行環境の改善など、日常生活の中でも歩きたくなるまちづくりを進めます。」

・令和5年11月:「第2次まちづくり戦略ビジョン(戦略編)」策定:

ウェルネスプロジェクト三本柱のひとつとして「ウォーカブルシティの推進」を明記

・令和5年11月:ウォーカブル欧州事例調査(パリ、ロンドン、バルセロナ)



・令和6年6月:第1回札幌市ウォーカブル推進本部会議:「(仮称)札幌市ウォーカブルビジョン」策定方針の合意

・令和6年7月:第1回外部有識者会議(以降、計5回開催)

・令和6年8～9月:市民公募型実証実験(平岸、宮の沢、真駒内)の実施 ※冬季には冬の実証実験(新さっぽろ、偕楽園緑地)を実施



・令和7年10月:市長副市長会議(兼 第3回ウォーカブル推進本部会議):ビジョン策定の合意

・令和8年3月:「Well-Moving City SAPPORO 2045 ビジョン

～心も一緒に動くまち～」策定・公表



・令和8年7月:第4回札幌市Well-Moving推進本部会議(名称変更):

推進体制の再構築、ネットワーク設立、推進プログラムの策定方針、リーディングプロジェクトの進捗について



【参考】第2回札幌市ウォーカブル推進本部会議(2025.7.11)における本部長指示及び対応状況

※第3回は市長副市長会議(2025.10.29)と同時開催

- 「(仮称)Well-Moving City SAPPORO 2045 ビジョン」を、庁内外の連携により策定し、目指す都市空間像を市民と共有するとともに、ビジョン策定後の具体的な推進施策についても着実に検討を進めること

→(結果)2026.7ビジョン策定完了

各種広報施策(広報さっぽろ、ラジオ、テレビ)実施済

R8推進事業整理中



- ビジョンに示す都市空間の課題解決や、パブリックスペースの新たな価値創造に向けて、各局においては既存事業の見直しだけでなく、新たな制度活用や規制緩和、新規事業の創出についても、積極的に検討すること

→(結果)ほこみち制度開始

「パブリックスペース活用ガイドライン」策定予定

次期APに向けて各局新規事業検討中



- ビジョンに示す目指す都市空間像を実現するべく、市役所内部の部局間連携のみならず、産学官民の共創による取り組みをこれまで以上に強化していくとともに、リーディングプロジェクト外に位置付けた事業について、ビジョンを体現する先駆的な取り組みとなるよう庁内外の関係者と協働しスピード感を持って推進していただきたい

→(結果)産学官民連携施策※推進中

Well-Moving Network組成予定

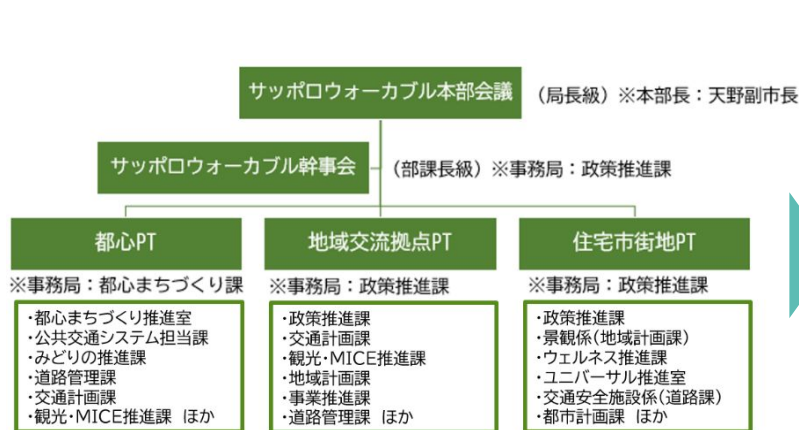
リーディングプロジェクト推進中

※札幌官民共創プラットフォーム「SAPPORO UPDATE」、アカプラピクニックシネマ(屋外映画)、ミューラルアート(壁画)、ISCORD国際寒冷地開発シンポジウム、都市計画全国大会@札幌、NoMaps、ストリートデザインスクール札幌等と連携中

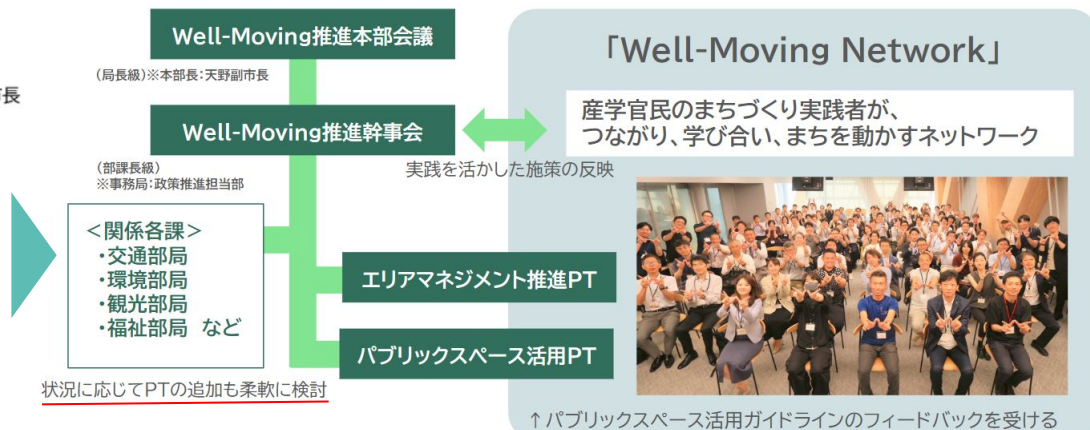




2 推進体制



旧体制(～令和7年度)



新体制(令和8年度～)

【再編成の経緯】

これまで「都心」「地域交流拠点」「住宅市街地」3つのPTにおいて各エリアの目指す姿を議論してきた。ビジョンが策定された今、これからはエリア横断的なまちづくりの仕組みを構築するため、まずは「エリアマネジメント推進」「パブリックスペース活用」の2つのPTを設立することとした。

※今後、推進プログラム(後述)の具体的な施策展開に資するPTを随時追加していくことを想定している。



3 プロジェクトチーム(PT)の再編成

【主な取組内容(想定)】

	エリアマネジメント推進PT	パブリックスペース活用PT
構成メンバー	●政)政策推進担当課 ★政)事業推進課 ●政)地域計画課 ●政)調整担当課 ●政)都心まちづくり推進室 ※今後、市民自治・商店街関係部局との連携を想定	●政)政策推進担当課 ★政)地域計画課 ●政)事業推進課 ●政)都心まちづくり推進室 ●都)管理課 ※今後、各所有・管理部局との連携を想定
取組内容	・各団体の活動エリア、主体、内容、熟度等の整理と類型化(市民活動団体等も幅広く情報収集) ・既存の助成金等、行政支援メニューの整理 ・各種行政計画との突合と行政支援の在り方整理	・活用を促進したい空間の洗い出しと関係部局協議 ・活用者と所有者の意見交換の場づくり ・ガイドラインの改定
長期的目標	両PTの連携により、エリアマネジメント団体の公的位置付けの整理やパブリックスペース活用の柔軟な運用を一体的に進め、「Well-Moving City SAPPORO」実現に向けた、多様な主体が参画・活躍できる環境を目指す	

★:各PTリーダー



4 Well-Moving Networkの設立

1)課題感

- ・札幌市には、エリアマネジメント団体、市民まちづくり活動団体、商店街、大学、企業、行政など、多様な主体による取り組みが数多く存在している一方で、それぞれの活動や知見、人材が十分につながっているとは言えず、互いの実践から学び合う機会が限られている

2)目指す姿

- ・「Well-Moving City SAPPORO 2045 ビジョン」の実現に向けて、各団体や、プレイヤー同士がつながり、実践知や人材が循環している状態。エリアにとらわれずに協力し合いながら、札幌全体の価値向上につなげていくことで「いつでもどこでも、誰もが心地よく、心も一緒に動くまち」を目指す

3)参加対象

- ・Well-Moving City SAPPOROの理念に共感する個人・団体とし、会費は無料
- ・「活動やイベント情報の提供」「交流会や研究会への参加」「プロジェクトへの参画機会」「Well-Movingロゴマークやキャラクター(アルカサル)の活用」などを想定

4)主な活動内容(想定)

- ・パブリックスペース活用研究会
- ・エリアマネジメント団体等まちづくり実践者交流会
- ・SAPPORO WINTER ACTION(冬の空間活用チャレンジ)



R7シンポジウム集合写真



実践者による課題共有セッション



主な活動内容イメージ

R7シンポジウムに参加した まちづくり団体一覧

(※参加団体を50音順で記載)



一般社団法人 新さっぽろエリアマネジメント

設立: 令和4年
エリア: 新さっぽろ駅周辺地区
構成員: 11社(社員: 7社、正会員: 4社)
事業: 「食と健康」をテーマにしたイベントを年に2回実施しているほか、今年度から広告看板事業やアクティブガーデンのレンタル事業を実施

一般社団法人 まちづくり篠路

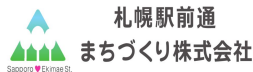
設立: 令和6年
エリア: 旧篠路村エリア(現在の活動は篠路駅東側地区)
構成員: 37名(個人会員: 35名 法人会員: 2法人)
事業: 駅前フェス、歴史的文化保存、道路美化、地域支援

学生団体 マルシェ本舗

設立: 令和2年
エリア: 平岸
構成員: 学生55名
事業: 平岸マルシェの運営、商品開発・販売

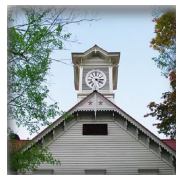
新幹線札幌駅東地区まちづくり勉強会

設立: 令和3年
エリア: 新幹線札幌駅東改札口周辺
構成員: 同エリア周辺企業/団体17社
事業: 地区のまちづくりビジョン・ガイドラインの策定・更新、地域の美化活動等のまちづくり事業



札幌の縁側 創成イースト

～ひとりでも、自分らしい時を刻み、
だれでも“ご縁”を育めるまち～



札幌駅前通まちづくり株式会社

設立: 平成22年
エリア: 札幌駅～大通駅の札幌駅前通の十街区
構成員: 札幌駅前通沿道企業などが株主、常勤職員13名
事業: 業: チ・カ・ホ、アカブラを中心とした各種まちづくり事業(イベント、広告、防災など)、地域の各種協議会等の事務局、民間開発の支援・調整

創成イーストリンク

設立: 令和7年
エリア: 創成東地区
構成員: 正会員8、賛助会員11(地域の企業や団体等)
事業: 「共有」「応援」「発信」を活動の基本方針として地域内の多様な主体と子どもたちのまちづくり活動を支援

道庁南エリア研究会

設立: 令和3年
エリア: 北海道庁南側～大通公園までの地区
構成員: 21団体
事業: まちづくりビジョン、ガイドラインの策定および実現に向けた検討、社会実験の実施

時計台周辺地区まちづくり協議会

設立: 令和4年
エリア: 時計台周辺
構成員: 同エリア周辺企業/団体5社
事業: 地区のまちづくりガイドラインの更新・共有、地区内における建築行為に対する事前協議

マコエキ会

設立: 平成29年
エリア: 真駒内
構成員: 地域住民15名
事業: 真駒内らしい景観や暮らしの賑わいに関する勉強会、真駒内景観指針作成に向けた活動

宮の沢まちづくり協議会

設立: 平成29年
エリア: 宮の沢
構成員: 同エリア周辺企業/団体等7団体
事業: 宮の沢地域の活性化に資する事業及び協議、まちづくり計画の策定、その他協議会の目的を達するために必要な活動



5 推進プログラムの策定(5つの重点方針に紐づくR8推進事業等抜粋)※R8年度末の策定を予定

①歩くことが楽しく、健康に暮らせる

- ・「Well-Moving City SAPPORO 2045 ビジョン」の推進：
ネットワーク及び推進本部会議の運営、推進プログラムの進捗管理【政）政策推進担当部】
- ・ウェルネス推進事業：産学官連携による市民の健康意識の向上や健康行動の変容を促す取組の実施【保）ウェルネス推進部】
- ・居心地が良く歩きたくなる都心まちづくり推進事業：居心地が良く、歩きたくなる都心まちづくりの推進に向けた施策の検討（大通・西6など）【政）都心まちづくり推進室】

③札幌らしく、四季を通じて歩かざる

- ・都心エリアマネジメント推進事業：都心各地区の特性に応じたエリアマネジメントを官民一体で推進【政）都心まちづくり推進室】
- ・定山渓地区魅力アップ事業：定山渓観光魅力アップ構想に基づく各種支援事業や周辺環境整備等の実施【経）観光・MICE推進部】
- ・景観計画推進事業：良好な景観の形成に向けた景観法、景観条例及び景観計画に基づく施策並びに地域特性に応じた魅力的な景観を形成する取組の推進【政）都市計画部】

⑤環境に優しく、みどりとともに暮らせる

- ・札幌市気候変動対策行動計画推進事業：札幌市気候変動対策行動計画の進捗管理等【環）環境都市推進部】
- ・「道路脱炭素化推進計画」の策定：道路空間における脱炭素化の推進【建）総務部】
- ・自転車の通行空間整備事業：自転車通行空間の整備【建）総務部】
- ・都心のみどり推進事業：官民連携による都心のみどりづくりの推進【建）みどりの推進部】

②居心地が良く、自分らしくいられる居場所がある

- ・地域と創る公園再整備事業：身近な公園の地域ニーズに応じた再整備
→工事：12地域、20公園、設計：7地域、10公園【建）みどりの推進部】
- ・「パブリックスペース活用ガイドライン」の策定・推進：道路、公園、広場等の公共空間のほか、民間開発で整備された公開空地等のパブリックスペースの活用促進に向けて、活用に必要な手続や申請フローをまとめたガイドラインを作成【政）都市計画部】
- ・プレーパーク推進事業：既存の公園等を活用し、規制を極力排除した子どもの遊び場である「プレーパーク」の推進【子）子ども育成部】

④誰もが安心して、円滑に移動できる

- ・将来交通体系の調査・検討：将来的な交通体系の検討に向けた都市交通調査、持続可能な公共交通の在り方の検討等【政）総合交通計画部】
- ・観光客受入環境整備事業：公衆無線LANの運用、観光案内サインの維持管理、Wi-Fi機器の更改及び観光地周辺道路の除排雪の強化等の実施【経）観光・MICE推進部】
- ・公共施設バリアフリー化促進事業：不特定かつ多数の方が利用し、又は主として高齢者や障がいのある方等が利用する既存市有建築物のバリアフリー改修の実施【政）ユニバーサル推進室】



←都市空間コンセプトと5つの重点方針イメージ



6 官民連携の取組

1) SAPPORO CO-CREATION GATEの活用



まちづくり・環境・安心安全 **NEW!**
No.55
パブリックスペースの活用～「心も一緒に動くまち～Well-Moving City～」の実現に向けて～
募集期間：継続的に募集中



まちづくり・環境・安心安全 **NEW!**
No.52
冬季の移動障壁を解消する新たな移動ツールの活用と有効性の検証
募集期間：2026.06.15～2026.07.31



2) その他連携(予定含む)



アカプラピクニックシネマ



建築・土木学生との連携 Well-Moving応援ウォーク



さっぽろラウンドウォーク

NoMaps 2026

IN SAPPORO, HOKKAIDO

2026/9/23:27開催決定!

NoMapsとの連携(都心回遊)

ISCORD国際寒地シンポジウム



公益社団法人
日本都市計画学会

都市計画全国大会@札幌



世界冬の都市市長会議
@フィンランド



【資料3】各局からの説明「リーディングプロジェクト“大通公園周辺”」

- 老朽化が進む施設の更新や、変化する利用者ニーズへの対応などが求められる大通公園のみならず、周辺の道路空間や街区も含めて、**一体感があり居心地がよく「歩かざる」空間の形成**に向けた検討を進めることを位置づけ。
- 今後は、**公共的空間を活用した試行的な取組を実施**しながら、市民や地域の関係者と共に**札幌の都心に相応しい将来像を検討・共有**し、その実現に向けて**段階的に取り組みを進める**ことでWell-Moving City SAPPORO の実現を牽引する。

推進方法のイメージ（段階的な取組）

【様々な課題の把握・整理】

- ・沿道と道路の一体感不足 ・路上駐車等の交通課題
- ・歩行に係るバリアの有無 ・地域の担い手の有無
- ・歩行者や自転車の安全性（※自転車との交錯等）
- ・多様な活動を許容する空間の有無
- ・休憩できるベンチの配置 など

試行的な取組を実施
地域との関係性構築
将来像の検討・共有

現 況



写真：路上駐車を避ける自転車

Well-Movingな空間形成



札幌市内の通りにおける
社会実験(R6)の様子

波及効果の検証
社会的受容性の醸成

札幌に相応しい将来像の実現

図：大通及びその周辺のまちづくり方針
(2023年10月)



※ 将来像は路線毎に様々考えられることに留意

社会実験
周辺への影響把握
安全性の確保
沿道関係者との調整
民間投資の活用検討
運用の仕組みづくり
機運の醸成 など

短期的に発現する効果は限定的であることから、長期的な視点で取り組むことが重要。
取り組む事業や路線を検討する際は、民間との連携の有無や、大規模プロジェクト等の影響を意識。



【資料3】各局からの説明「リーディングプロジェクト”真駒内駅前地区”」

- 真駒内駅前において、平岸通を迂回化し、駅・交流広場・交通広場・商業施設等を地上レベルでつなぐことにより、切れ目のない歩行者動線の構築を目指す(令和14年度に開業・供用開始予定)
- 今年度は、平岸通及び交通広場の都市計画道路事業としての認可に係る手続のほか、交流広場や商業施設等の開発事業者に係る公募条件を整理し、公募手続を開始する予定



▲イメージパース(俯瞰)



▲イメージパース(交流広場)



【資料3】各局からの説明「リーディングプロジェクト”本郷商店街”」

- 本郷商店街のメインストリートである市道本郷中央線を、歩行者の利便増進を図る空間構築が可能となる「歩行者利便増進道路(ほこみち)」に指定(令和8年4月)
- 指定した道路内に「特例区域」を定めることで占用の自由度が高まることから、引続き検討を深めて令和9年度中の「特例区域」指定を目指す
- そのため、今年度はベンチの効果的な配置等の検討を目的に、本郷商店街が主体となり年間を通じて複数回の実証実験を行う(令和8年5月:第1回目実施)。
- また、ほこみちを活用したまちづくりの機運醸成を目的としたシンポジウムを本郷商店街と共同で開催(令和8年6月24日)



▲ 第1回目実証実験(令和8年5月)



▲ シンポジウム(令和8年6月)



【資料3】各局からの説明「支援策”パブリックスペース活用ガイドラインの作成”」

- 道路、公園、広場等の公共空間のほか、民間開発で整備された公開空地等のパブリックスペースの活用促進に向けて、**活用に
あたってのアイデアやヒント及び活用に必要なルールや手続きなどをまとめたガイドラインを作成**(令和8年7月)
- 活用者や施設所有者との意見交換の場をもち、PTにおける検討を踏まえて**より使いやすくなるように必要に応じて改定予定**



▲ガイドライン表紙

▼宮の沢ピクニックフェス (コンサふれあい通り)



▲創成イーストシネマ (創成クロス)

▼shin-sapporo good summer festival (新さっぽろアクティブガーデン)



▲パブリックスペース活用事例